

平成28年度事業報告

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

I 事業内容

適正・適法な狩猟を永続させるため、狩猟知識の普及、射撃技術・狩猟道德の向上に基づく安全対策を徹底させることにより狩猟事故の防止を図るとともに、キジ、ヤマドリ保護増殖、及び有害鳥獣捕獲・個体数調整捕獲を実施することで地域社会の環境保全に寄与し、貢献するため次の事業を実施した。

1 公益実施事業

◎継続1 狩猟事故防止指導事業（3, 546, 758円）

- ① 28年10月11日：狩猟事故防止対策協議会を開催し、県及び県警本部担当職員による講義の他、狩猟事故の発生状況報告を受け、狩猟事故防止・違反の防止及び狩猟安全パトロールについて協議をおこなった。
- ② 28年10月19日：狩猟事故防止に向け、狩猟グループの代表者を対象とした「狩猟事故防止研修会」を88名の参加を得て開催した。なお、この事業は、県の委託を得て実施した。
- ③ 29年1月31日：29年1月7日に高崎市倉渕町で起こったグループ猟中の銃による自傷事故を検証し再発防止を図るため、県警・県担当者に講師を依頼し「狩猟事故再発防止研修会」を開催したが、110名が参加した。
- ④ 狩猟期間中の事故・違反防止のため、初猟日に地区猟友会役員等による検問を県内4カ所で実施した。また、狩猟期間中では、狩猟事故防止指導員55名及び大日本猟友会から委嘱されている安全狩猟指導員47名により、入猟者の指導をおこなった。
- ⑤ 各支部毎に狩猟安全パトロールを行うとともに、パンフレットの作成・配布などで狩猟事故防止・マナー向上を呼びかけた。
- ⑥ 地区猟友会長に対し、狩猟事故防止に対する様々な項目について会員に徹底するよう通知した。
- ⑦ 県の委託を受けて、鳥獣保護区等で制札及びビニール標識等の設置・撤去事業をおこなった。
- ⑧ 各消防署で実施している普通救急救命講習について、狩猟中の滑落等の事故にも対応できるよう地区猟友会事業として受講する動きが出てきている。

◎継続2 鳥獣保護増殖事業（4, 232, 466円）

- ① キジ及びヤマドリを、県日本キジ・ヤマドリ養殖組合から購入し、ヤマドリは猟期前の10、11月に、キジは猟期後に可猟地に放鳥した。

● 支部別放鳥実績

	渋川	沼田	吾妻	藤岡	富岡	高崎	東部	計
ヤマドリ 120日令	7	8	5	0	0	0	0	20
キジ 成鳥	56	57	37	27	25	59	89	350
計	63	65	42	27	25	59	89	370

- ② 県が県日本キジ・ヤマドリ養殖組合から購入したキジ・ヤマドリ1,490羽について、県の委託を受け放鳥した。
- ③ キジ・ヤマドリの放鳥効果を高めるため、自然増殖を妨げるキツネ及びテン等を猟期中に捕獲するよう奨励した。
- ④ キジ・ヤマドリには県放鳥分を含め足環を付しているが、生息状況等の調査実績を高めるため、足環を回収した狩猟者に対して記念品を贈った。

◎継続3 初心者予備講習事業（1,040,358円）

狩猟者試験受験者の資質向上のため、県の委託を受け次の内容で予備講習会を実施した。

- 講習内容：法令、鳥獣の判別、銃器及び猟具の取り扱いについて
- 開催日時及び受講者数
 - ・第1回 28年7月2日（公社総合ビル） 45名受講
 - ・第2回 28年9月6日（ ） 37名受講

◎継続4 災害対策事業（アマチュア無線開設者による緊急対策協力事業）

この事業については27年度以降会議等の開催実績がなく、今後も開催する予定が無いことから公益実施事業としての要件を満たさない状況にある。このため、今後この事業の扱いについて、県学事法制課と協議を進める。

◎継続5 クレー射撃場運営事業（39,904,444円）

- ① 群馬県クレー射撃場は、県より指定管理者として指定を受け、狩猟者が安全狩猟をおこなうための射撃技術向上と銃器の適正な取り扱い技術の習得を目的とした実技研修会場として位置付けて運営している。

この研修は、銃所持許可更新時の技術講習及び地区猟友会員の実技研修、及び猟銃等を所持しようとする初心者講習などを中心として実施している。

なお、射撃場の住宅地に近い立地状況をふまえ、射撃音など、地域住民の意見・要望に配慮を行い、施設への理解が得られるよう日頃より努めている。

- ② 県は29年3月にライフル射撃施設整備等に向けての基本設計業務を発注したが、今後、29年度中にはこの基本設計の成果をもとにして実施設計を行い、30年度から建設工事等が予定されている。今後、早期に施設の使用ができるよう、県との調整を進めていく。

● 射撃場利用状況

利用者数	内県外利用者数 (%)	クレー利用枚数	ラビット利用枚数	合計
6,619名	1,376名 (20.1%)	578,146枚	5,541枚	583,687枚

※ 利用者については、前年度比3.5%の増。

● 射撃教習実施状況

- ・初心者講習 11回 24名参加
- ・技能講習 29回 77名参加

2 その他事業

◎1 狩猟登録申請等及び証紙売り捌き事業（4,706,248円）

- 1 狩猟免許更講習及び更新取りまとめ事業
28年度の狩猟免許更新予定地区猟友会会員（456名）に対して通知するとともに、免許更新申請書の取りまとめと免許更新講習会（7会場）を県の委託を受けて実施した。
- 2 県証紙売り捌き事業
県条例による「県証紙売り捌き所」の指定を受け、狩猟免許及び狩猟者登録等に必要な県証紙の売り捌きをおこなった。
- 3 狩猟者登録申請取りまとめ事業
会員の県外登録事務及び県外からの登録申請の取りまとめを県の委託を受けておこなった。
 - 県外狩猟者 857名（前年度比95.3%）
 - 県内居住者 2,339名（前年度比99.6%）

◎2 指定管理鳥獣捕獲等事業（21,535,657円）

- 事業実施地区
下仁田町神津牧場地区、前橋市赤城南麓地区、及び片品村尾瀬地区におけるニホンジカ捕獲、太田市金山地区におけるイノシシ捕獲の計4地区について、県から委託を受け事業を実施した。

◎3 その他事業（2,871,754円）

- 1 会報発行事業
本会事業への理解を深めるとともに、狩猟及び環境保全に関する知識を高め狩猟道德の向上を図るため、会報を発行し、会員、県・市町村、県警本部・各警察署等に配布をおこなった。
 - 猟友ぐんま第59号（平成28年10月：2,200部発行）
 - 猟友だより第35号（平成29年3月：2,100部発行）
- 2 射撃部事業
会員相互の親睦を図ると共に、銃器の取り扱いの習熟により狩猟事故・違反を防止し、地域社会への貢献につなげるため、「安全狩猟のための射撃大会」を次のとおり開催した。
 - ア 安全狩猟フィールド射撃大会
28年5月22日、安中射撃場で開催した。
 - ・ 優勝：新井和夫氏 準優勝：新井勝氏 第3位：本多一成氏（23名参加）
 - イ 安全狩猟地区対抗射撃大会
28年6月12日、安中射撃場で開催した。
 - トラップ部門
優勝：富岡猟友会（71名参加）
 - スキート部門

- 優勝：上野村猟友会（48名参加）
- ウ 安全狩猟ライフル・スラッグ射撃大会
28年7月17日、長瀬総合射撃場で開催した。
- ライフル部門
優勝：大矢 力氏 準優勝：田村 照男氏 第3位：吉岡 賢治氏
(19名参加)
 - スラッグ部門
優勝：鈴木 猛氏 準優勝：倉田 稔氏 第3位：星野 大輔氏
(10名参加)
- エ 安全狩猟クレ射撃選手権大会
28年9月11日、県クレ射撃場で開催した。
- トラップ部門
優勝：周東 行雄氏 準優勝：里 秀雄氏 第3位：篠原 信二氏
(29名参加)
 - スキート部門
優勝：長壁 博貴氏 準優勝：今泉 道男氏 第3位：新井 勝氏
(21名参加)
- なお、優勝者の氏名は、選手権者として県クレ射撃場に掲示した。
- オ 一都八県ライフル・スラッグ射撃大会
28年9月3日、埼玉県猟友会を当番として、埼玉県長瀬射撃場で開催された。
本会の出場チームはライフルの部（田村照男氏、吉岡賢治氏、石田富士夫氏）、
スラッグの部（倉田稔氏、星野大輔氏、松島義一氏）であったが、共に健闘した。
- カ 第11回安全狩猟関東山静ブロック大会
28年9月17日、栃木県猟友会を当番として、那須国際射撃場で開催された。
本会の出場チームは、群馬A（新井勝氏、高橋規和氏、岡田友男氏、小此木貴行氏）、
群馬B（小此木貴行氏、松本正氏、中条賢司氏）で、個人の部は新井勝氏が優勝、
団体の部は群馬Aが準優勝と大健闘した。
- キ 28年10月29～30日、神奈川県伊勢原射撃場で開催された日本クレ射撃協会が主催する全日本選手権大会スキートの部で、利根沼田猟友会会員、丸山和成氏が優勝した。
- 3 猟犬部事業
今年度は、諸般の事情から猟野競技会を休止した。
- 4 教育宣伝事業
大日本猟友会報を全会員に配布した。
- 5 表彰関係事業
- ア 28年5月18日開催した通常総会において、永年地区猟友会において会の運営及び会員の指導に尽力している次の各氏の功績を称え表彰した。
- 特別功労者表彰 高崎猟友会：秋池 修氏
 - 会長表彰
利根沼田猟友会：根岸 恒雄氏 吾妻猟友会：湯本 節義氏
藤岡猟友会：清水 敏夫氏 南牧村猟友会：高橋 正一氏
高崎猟友会：根岸 宏氏 高崎猟友会：笠原 敏夫氏

館林猟友会：内田 大吉氏 佐波伊勢崎猟友会：清水 康男氏
 イ 通常総会において、永年地区猟友会において会の運営に尽力し、役員を退任された次の各氏に感謝状を贈呈した。

- 吾妻猟友会：(故) 福田 弘幸氏 太田猟友会：鹿山 市郎氏
- 松井田猟友会：吉田 辰夫氏 黒保根猟友会：島宮 嘉一氏

○6 狩猟災害共済保険及びハンター保険事業

会員の狩猟における安全を担保するため、災害共済保険及びハンター保険に取り組んだ。なお、ハンター保険の補償対象のうち、銃器の破損については28年11月14日から適用することになった。

● 加入者数

免許の種類	狩猟災害共済保険			ハンター保険		
	加入数	会費	合計金額	加入数	掛金	合計金額
網猟・わな猟	313名	2,300円	719,900円	277名	※1,640円	454,280円
第1種銃猟	1,498名	4,800円	7,190,400円	959名	4,000円	3,836,000円
第2種銃猟	41名	2,300円	94,300円			
網わな1種・2種	—	—	—	518名	※4,290円	2,222,170円
計	1,852名	—	8,004,600円	1,754名	—	6,512,450円

※は加入期間により変動する。

● 28年度保険給付状況

狩猟災害共済保険		ハンター保険	
給付件数	給付金額	給付件数	給付金額
6件	399,000円	15件	975,558円

○7 狩猟免許等所持証明発行事業

狩猟登録申請書に添付する狩猟免許及び被保険者証の所持証明524件発行したが、手数料(1件あたり200円)は該当する支部の運営費として交付した。

支部名	狩猟免許所持証明手数料		共済者証所持証明手数料		合計金額
	件数	金額	件数	金額	
渋川	15	3,000円	15	3,000円	6,000円
沼田	1	200円	155	31,000円	31,200円
吾妻	26	5,200円	145	29,000円	34,200円
藤岡	3	600円	3	600円	1,200円
富岡	—	—	—	—	—
高崎	4	800円	4	800円	1,600円
東部	58	11,600円	56	11,200円	22,800円
県猟	20	4,000円	19	3,800円	7,800円
計	127	25,400円	397	74,600円	104,800円

○8 わな猟初心者講習会事業

わな猟免許取得者に対する安全かつ効果的なわなによる捕獲技術講習会を、県の委託を受けて次の内容で開催した。

- 講習内容：野生動物の生態、箱わな及びくくりわなの掛け方の実習

● 開催日時及び受講者数

- ・ 第1回 28年10月26日(県畜産試験場) 31名受講

- ・第2回 29年 3月 5日（観音山ファミリーパーク）27名受講
（合計58名受講）

○9 野生鳥獣肉の放射能検査における検体提供事業

県からの要請を受け、検体の提供数が少なかったイノシシについて29年1月31日付けで各地区猟友会に提供について呼びかけをおこない、出荷自粛措置の解除に向けて検査に協力をした。